

丹後震災100年記念プレイベント・丹後震災次世代プログラム 「100年越しのシャッター」の開催について



令和 7年 12月 17日
京丹後市教育委員会

京丹後市は、昭和2年3月7日の丹後震災からあと1年と少しで100年を迎えます。

京丹後市教育委員会では、京都府文化生活部文化政策室が事務局を務めるKYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会に参画をしており、今年度、当該実行委員会において標題のプログラムを下記の通り開催しますのでお知らせします。

- (1) タイトル 丹後震災100年記念プレイベント・丹後震災次世代プログラム
「100年越しのシャッター」
- (2) 目 的 丹後震災からあと1年と少しで100年を迎える今、地域の児童・生徒が丹後震災を学び、復興建築を訪れるとともに、当時の写真と同じ場所・同じ構図を探し出し撮影を行う定点観測を体験するもの。
- (3) 日 時 令和8年1月10日（土）13時00分～16時30分（12時50分集合）
- (4) 対 象 峰山学園の小学校5年生～中学校3年生
（峰山小学校・いさなご小学校・しんざん小学校・長岡小学校・峰山中学校）
- (5) 定 員 15名程度（申込先着順、参加無料）
- (6) 会 場 峰山総合福祉センター
- (7) 主 催 KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会
- (8) 協 力 福知山公立大学 地域経営学部 大門大朗 准教授 及び学生
地域防災研究センター及び学生団体「七福ふっこう隊」の学生
情報科学芸術大学院大学 産業文化研究センター 高森順子 研究員
- (9) 申 込 京丹後市教育委員会事務局文化財保存活用課
電話0772-69-0640 メールbunkazaihogo@city.kyotango.lg.jp
※参加者の「名前、住所、電話番号、学校、学年」をお知らせください。
※申込期限：令和8年1月9日（金）

<次項あり>

《講師紹介》

- (1) 知山公立大学地域経営学部 准教授 ^{だいもんひろあき} 大門大朗 氏

社会心理学やグループ・ダイナミクスを専門とし、地域住民と協働しながら防災や減災の仕組みづくりに取り組んでいる。

主な研究キーワードは「災害ボランティア」「災害復興」「地域防災」

- (2) 情報科学芸術大学院大学産業文化研究センター 研究員 ^{たかもりじゅんこ} 高森順子 氏

研究者と当事者が協働して「より良い」状態を目指すアクションリサーチという研究スタンスに則り、災厄の経験を表現する人々と研究活動を行っている。

市民団体「阪神大震災を記録しつづける会」において、阪神・淡路大震災の経験を手記集として出版する活動を行う。

《KYOTO地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト実行委員会》

京都府ミュージアムフォーラムの地域連携プログラムを実施する京都府立丹後郷土資料館を中心とし、各地域のミュージアムで構成する実行委員会。

地域の文化資源を探究・発信することで次世代継承を図る「次世代と地域文化をつなぐミュージアムプロジェクト（つなプロ）」をこれまで各地で実施（京丹後市では令和4年度に高龍小学校で実施）。

お問い合わせ先

京丹後市教育委員会事務局 文化財保存活用課 〔電話 0772-69-0640〕

丹後震災の記憶を次世代につなぐ
プロジェクト(つなプロ)

100年越しの シヤリター



事前
申込制

定員
15名程度
(申込先着順)

参加
無料



100年前と
同じ場所で
写真を撮ろう!

昭和2年(1927年)3月7日、京丹後市をマグニチュード7.3の大きな地震「丹後震災(北丹後地震)」がおそいました。丹後震災からあと1年と少しで100年の今、震災復興で建てられた建物を訪れ、100年前の写真と同じ場所、同じ構図を探し出し、撮影を行います(定点観測)。みんなで震災の記憶を未来につなぐプロジェクト、ぜひご参加ください。

2026.1.10 sat
13:00~16:30(12:50集合)

集合場所: 峰山総合福祉センター(京丹後市峰山町杉谷691番地)

| 見学・体験 | 復興建築: 丹後震災記念館・峰山小学校旧本館
(いずれも室内立入禁止、外観のみ見学)

| 定点観測 | 峰山小学校周辺、京都銀行交差点周辺

対象 峰山学園(峰山小学校・いさなご小学校・しんざん小学校・長岡小学校・峰山中学校)に
在学する小学校5年生~中学校3年生

参加方法 申込先: 京丹後市教育委員会事務局文化財保存活用課
電話: 0772-69-0640 または
メール: bunkazaihogo@city.kyotango.lg.jp により、
お名前、ご住所、電話番号、学校、学年をお知らせください。

申込締切 2026年1月9日(金)

当日撮影した写真は、
記念品として印刷し、
後日参加者に
郵送します。

撮影に使用する
カメラは貸出します。
持参する必要は
ありません。

スケジュール

- ・開会(つなプロのはじまり)、丹後震災について
- ・定点観測ってなに?(大門先生・高森先生)
- ・復興建築を見学しよう
(丹後震災記念館→峰山小学校)
- ・定点観測に出かけよう(グループ行動)
- ・ベストショットを見つけよう
- ・ふりかえり(大門先生・高森先生)
- ・閉会、解散

イベント当日の様子は、記録・広報のために写真・動画の撮影を行います。撮影した写真・動画は丹後震災100周年イベントやWEBサイト等で公開します。また、当日、メディアによる取材が入ることがありますので、ご了解の上、お申し込みください。